

東山高架橋にて橋梁修繕工事の現場見学会を開催 ～府および市町村の技術者育成のためフィールドを提供～

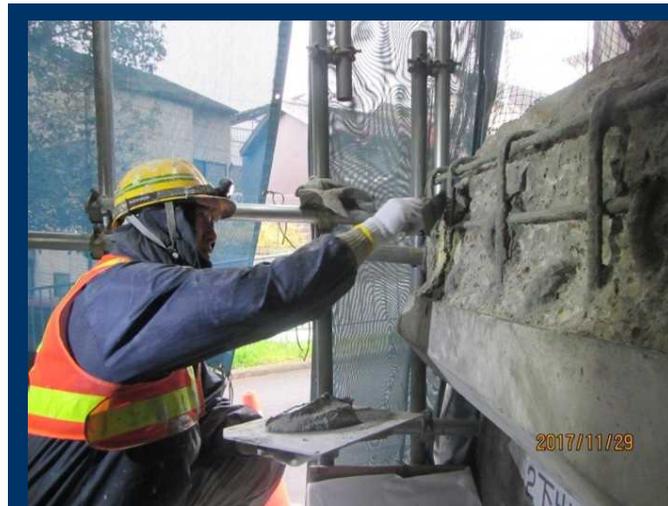
- 平成29年11月16日(木)、29日(水)の2日間、京都府南部・橋りょう維持管理研修会に、京都国道事務所発注の東山高架橋の橋梁修繕工事の現場をフィールドとして提供した。(国道1号巨椋大橋他補修工事:ショーボンド建設株式会社)
- 2日間で府、市町村、道路公社のメンテナンス担当など約30名が参加し、断面修復、ひび割れ補修、剥落防止、表面被覆の施工手順、作業状況などを見学し、質問、意見交換を行った。

参加者の声

- メンテナンス担当と言っても、デスクワークが中心で現場を見る機会が少ない職員も多いので、こういった研修会は有り難い。
- 補修方法について、資料等で知っているのと、現場で見たことがあるのでは、理解度に大きな違いがある。現場を見る機会をもっと増やしたい。
- 国も同様かもしれないが、橋梁補修は品質管理、使用材料等について、明確な基準が無く、現場管理の際の判断に苦慮している。
- 平成26年度に5年に1度の点検が義務化され、市町村においては、ようやく点検が軌道に乗ってきたところ。工事発注においては、予算確保など、まだまだ課題が山積している。



テストピースによる補修方法の説明



断面修復見学状況